

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年 6月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年 6月 1日発行 通巻350号

**梅雨時、雨対策を万全にして、
スリップ・転倒事故を防ごう**

6月号目次

・ 目 次	2
・ 5月理事会報告	3
・ 山行報告・ピサンピーク（酒井莊多）	7
・ 山の日記念「田中陽希講演会」案内	10
・ 役立つ本の紹介	13
・ 6月7月予定表	14

表 紙 写 真 説 明

船橋勤労者山の会酒井莊多氏（海外委員会）から、ネパール・アンナプルナ山群ピサンピーク（6091m）の登山報告の投稿をいただきました。

コロナ禍で、予定がノビノビになっていたそうですが、なじみの現地スタッフとの楽しくも厳しい山行だったようです。

ピサンピークは、日本人に人気のピークです。アンナプルナ周遊コースにあり蕎麦の季節は、一面の蕎麦畑がピンクに染まります。蕎麦畑の中をBCに往復して高度順応をします。

2006年に行った時、工事中だった自動車道路が完成して、アプローチが大変楽になったようです。

トレッキングコースとしても魅力的です。機会があったら是非楽しんで下さい。

——編集者——

千葉県勤労者山岳連盟 2022 年 5 月 理事会報告

議事録作成者：渡辺県連理事（松戸山の会）

◆ 日 時 2022 年 5 月 19 日（木）19:00～21:00

◆ 場 所 ZOOM 会議

◆ 参加者

県連理事	×	市川山の会	○	松戸山の会	○	かがりび山の会
○ 岳人あびこ	○	ちば山の会	×	ちば山の会	○	まつど山翠会
○ 東葛山の会	×	船橋勤労者山の会	○	ふわく HC	×	茂原道標山の会
○ 君津ケルン山の会	×	まつど遠足クラブ 1 年さくら組	○	千葉こまくさ HC	○	千葉民医連 山を歩こう会
○ 山の会らんたん	○	山の会・岳樺クラブ				（12 会）
県連役員	○	広木（会長）	○	野田（理事長）	○	鶴田（副理事長）
○ 菅井（自然保護）	○	伊東（教育遭難対策）	○	安彦（海外）		（6 名）
全国連役員	×	石川（副理事長）	○	山本（理事）		（1 名）

○：出席、×：欠席 △：途中退席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

◆ 議 事

議 事

1. 理事長挨拶（野田理事長）

- ・登山シーズンとなったが、事故の無いようにお願いします。
- ・今年は委員会活動を活発化させ、県連活動の活性化を図ることを重点目標としている。

2. 役員会報告（広木会長）

- ・5 月 5 日（木）に ZOOM 役員会実施

主に山の日の講演会の取り組みについて実施、詳細は安彦氏から報告します。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

① 6/4（土）の登山講習は、今参加受付中

- ・場所：古賀志山
- ・人数：15 名程度を予定だが、現段階で4つの団体（かがりび、東葛、岳人あびこ、茂原）から15名が参加希望。
- ・締め切り：5/27 人数については次回委員会で検討したい。

② 4/25 教遭委員会を開催

- ・4/2 雪上技術講習の総括
- ・6/4 登山講習の検討
- ・登山講習の人数が増えた場合は、対応ができるのか？（野田）
- ・講師の問題もあるが、講師が一部いれば20名程度なら可能。（伊東）
- ・計画書コースの古賀志山の次は、赤石山ではなく赤岩山なのでは。（安彦）

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・11 月 26 日（土）オンライン関東ブロック交流会を予定し、調整中
- ・7 月 9 日（土）の全国自然保護講座は、会場が滋賀県と遠く、委員会としては参加の予定なし。

- ・クリーンハイクは県連全体としては取り組まないが、各会で進めてほしい。
- ・「自然保護憲章(冊子、無料)」が事務所に多数あるので活用してほしい。部数の連絡があれば送付する。(広木)
- ・労山の全国連事務所にも「自然保護憲章(冊子)」が 8000 部あるので活用を。(山本)

3)ハイキング委員会(田中)

- ・5/31に会議を実施し、ウィークデー山行について検討する。
- ・毎年実施している6月の予定は、無いのか？(深草)
- ・コロナの関係もあり、6月の実施は無い。
- ・1月に予定したロングについても、これから予定か？(野田)
- ・コロナの関係もあり、検討したい。

4)組織委員会(野田)

- ・昨年実施した各会の状況調査のまとめ、展開準備中。

5)女性委員会(広木)

- ・「山筋ゴーゴー体操」の石田先生、「安全登山」の安村先生との打ち合わせを Zoom 実施予定。
- ・講習の希望内容や問い合わせ等があったら、広木まで連絡を。
- ・各会から、女性委員の選出をお願いします。

6)海外委員会(安彦)

- ・委員会を当初の 5/12 を 5/26 に変更して開催予定。
- ・佐藤さん(千葉こまくさハイキングクラブ)退任し、堀越さん(山の会らんたん)新任。他の委員は再任の方向で調整中。
- ・『ちばニュース』表紙用写真として、海外登山関連の提供依頼をメール配信。
現在1名から投稿がある。各会で海外登山に関係する写真があったら送付してほしい。
- ・ちば山の会は加藤さんが継続か？ 継続です。(園田)
- ・今年は海外に行くのか？(野田)
- ・船橋山の会の酒井さんが 26 日の会外委員会に出席したら、検討したい。
- ・当初、ロシアのサハリンにある山を考えていた、時勢から台湾の「雪山」等を候補に検討をする。

7)機関紙委員会(広木)

- ・原稿が少なく頁を埋めるのに苦労している、投稿をお願いします。
- ・組織の機関紙としての形態を成すため、山の記事や各会の山行の様子を載せ、県連を身近に感じてもらえるようになればいい。

4. 役員会からの連絡

1)2022 年度の会代表者、県連、役員名簿(案)について

- ・野田氏からのメール(5/21 付)「ファイル名:2022 年度県連会代表者・理事・役員名簿 (野田(1))」の改定案「2022 年度 千葉県勤労者山岳連盟加盟会・代表者・県連理事・役員名簿-6」による。

2)2022 年度委員会名簿(案)について

- ・野田氏からのメール(5/21 付)「ファイル名:2022 年度委員会名簿案(野田) (1)」の改定案「千葉県連 2022 年度委員会名簿-2(案)」による。

5. 全国連盟からの情報展開(野田)

1)全国連よりの下記資料データを 5 月 1 日に各会代表者、理事にメール済

- ・2023 年労山カレンダー募集要項
- ・自然保護講座 案内
- ・2022 全国一斉清掃登山・クリーンハイク アピール文
- ・2022 年国民平和行進 日程・コース 関連資料
- ・安全登山 2022 ハンドブック(日本山岳ガイド協会・国立登山研修所)
- ・「労山ニュース」第 42 号

2)「安全登山ハンドブック」「労山ニュース」について

- ・全文がインターネットに掲載されている。

紙媒体で希望の会は、必要部数を 5/26 までに野田まで連絡をくれれば、取りまとめて全国連に依頼し、6月の県連理事会で配布する。

- ・今までは各会に直接送られていた。

メール添付で読めと言っても事実上難しい、特にパンフレットは利用されない。各会も全会員に配布するのは厳しい状況で、全国連盟から送付できるのであれば利用した方がいい。(広木)

6. 各会理事からの活動状況報告

1, 松戸山の会(渡邊)

- ・総会が6/19で、県連の総会と3か月違い、4, 5, 6月の扱いが、紛らわしい。
- ・総会資料から 2020,2021 年度は、コロナ禍、会員数や山行数が激減したが、本年5、6月にだいぶ持ち直した。
- ・会員数の減少への会としての対策は。(安彦)
- ・若年層を取り込むために、会 HP の「ブログ」の充実を図っている。

2, 「山の会「岳樺クラブ」(荒井)

- ・クライミングで「鋸山南壁」を会として活用していたが、一般人の事故があり、管理者から 8/1 以降の使用中止の連絡があった。(クライミング関係者ではなく、車で来た親子連れ観光客)
- 今後の管理者への使用歎願等を考えている。その際の署名等、県連の協力は得られるのか？
- ・この情報は把握していた。今後もクライミング愛好者が利用できるように県連盟も協力する。
- 今後、情報交換を行い一緒になって取り組みたい。(広木)

7. 全国連盟理事からの連絡・情報提供等(山本全国理事)

- ・全国連盟組織部から、千葉県連の議案書が欲しいとのこと。
- ・山の日の講演会のチラシ等は、いつ頃配布されるのか？
- ・チラシについては、全国事務局に配布済み(野田)

8. 今年の県連オンライン講習会の実施について(伊東)

- ・各会から講習会のテーマを提案依頼について

「かがりび山の会」から、「GPS の使い方」、「ココヘリの紹介」、「東葛山の会」から「房総の山復興プロジェクトの進捗と今後のスケジュール、県連としての関わり方」等の回答。

・埼玉県連で「埼玉県連の歴史」を Zoom でやるとの情報あり。(山本)

・会員の要望に沿ったテーマ選定したいので、各会からの提案をお願いしたい。内容については今後、伊東教遭委員長と役員会で検討したい。(野田)

9. 房総の山復興プロジェクトについて(安彦)

・3つの山岳団体が主催し、労山代表として広木、野田、田中、安彦の4名が会議に出席。

・参加希望会員全員が確実に参加できるように、早めの参加者集約を行う。

・今日の時点(一次集約、5/19)で、2会から報告がない、参加希望者は144名で、目標の人数に達していないので、各会で更に PR をして下さい。(5/24時点で 146 名)

・二次集約は 6/16 の理事会とするが、多くの会員に参加してほしいため、入場料の半額を県連が補助する。会員以外でも名簿に記載された方は、労山で補助する。

ただし、7/21 の理事会での「参加者名簿」を最終確認とし、以後、参加者名簿登載者のキャンセルは会で責任をお願いします。

・当日、会場受付にて、入場料と引き換えにチケットを渡します。

・当日の運営に関する役割分担を、理事を中心に協力をお願いしたい。

・ポスターの掲示やチラシの配布は、今後の参加状況を見て判断する。

・募集人数は、コロナ禍を考慮して約 500 名であったが、会場の千葉市民会館からの情報で 800 名になった。各会でも、更に呼びかけてほしい。(元会員や知人等へも)

・一般は、ポスターやチラシの QR コードや URL から申し込むことになる。

・5/24の房総の山復興プロジェクト会議で現況を話し合い調整する。

参加人数が800名になった事もあり、200名を超えても参加可能と判断出来る。そのためにも早めに人数を確定する必要がある。(広木)

・ポスターやチラシは、参加人数把握後の配布とし、現在掲示は控えている。(野田)

・ポスターやチラシは、配信したメールアドレスを先ずは活用してほしい。

・<質問> SNS(フェイスブック、インスタ等)での PR はどうか。(山本)

→プロジェクト会議で話し合っていないので、現時点では考えてない。

→あくまでも主催3団体の、協力・合意の下に行っている。(広木)

10. その他協議・連絡事項(野田)

1) 6 月理事会は、6/16(木)19:00~20:50 に実施する。

今期の理事会はZOOMで実施だったので、6月理事会は状況を見て、船橋西部公民館で実施を予定している。新理事の顔合わせもあり、全理事の参加をお願いします。

2) 現在、各会の山行が増えています。山行数に比較して事故が多くなっていると思われます。

各会におかれましては、事故防止に力をいれて下さい。(広木)

文責 広木国昭(ちば県連会長)

山の日記念「田中陽希講演会」を成功させよう！

早めの申込で、参加希望者が、全員参加出来る取組みを実施しよう。
各会の協力をお願いします。

ピサンピーク 6091m (ヒマラヤ・アンナプルナ山域)

2022. 5

船橋勤労者山の会

酒井荘多

メンバー：酒井L、ガイド：ゲルジュ（50歳・チュルとパチエルモ2回で今回で4回目・ルクラから徒歩2日のヘイワ村在住）、全行程ポーター：カップ（30歳・ヘイワ村在住）、マナンからのポーター：ニーマ（40歳・前回と前々回のパチエルモにも同行・ヘイワ村在住）、ドルジュ（25歳・ゲルジュの長男・ヘイワ村在住）

2年前の4月に行く予定でマレーシア航空Eチケットを買ったが、コロナで延期。その予約を変更し、やっと出発できた。往復航空券10万円。

4/15 成田10:20発マレーシア航空71便でクアラルンプール16:45着。空港外に出るとホテル隔離となるので、トランジットのベンチでツエルトにくるまって寝る。

4/16 クアラルンプール09:10発マレーシア航空170便でカトマンズ11:45着。ネパール入国は接種証明書とネパール政府書式（ネットで事前に打ち込んだ書式のプリント）だけでOKとなった。15:00サムサラホテルでAnnapurna Foothills Trekking (AFH社)ニーマ社長及びゲルジュガイドと打合せ。

現地費用3,400ドル支払う。荷揚げは、ベシシャハールからジープでピサン迄ポーター2名で上げる南ルートを主力とし、本隊はジョムソン空港から3名でトロンラ峠を越えて高度順化しながら北からピサンに入ることに決定。

4/17 ゲルジュガイドと共にカトマンズ07:00発のエアコン付バスで16:30ポカラ820m着。ホテル泊。

4/18 ポカラ空港06:50発タタエアーは現地強風で4時間遅れで11:00発となったが40分飛行でジョムソン2720m空港着。ここでバスで来たカップと合流。強風のなか、カリガンダキ川に沿って登り自動車道路をショートカットするトレースを登り、20:00ムクティナ着。ロッジ泊。

4/19 高度順化。同ロッジ泊。

4/20 ムクティナ3694mを09:00出発。登山道を登り12:00チャンバブフ4280m着。ロッジ泊。

4/21 高度順化。4700mキャンプは「水が無い」と地図に書いてあるので、ゲルジュとカップが偵察兼荷揚げに出る。雪溪があるので使えそうとのこと。

4/22 10:00チャンバブフ4280m発。13:00に4700mキャンプ着。避難小屋があるので、そのなかにテント1張設営。雪を解かし水作る。テント泊。

4/23 07:00に4700mキャンプ発。トロンラ峠5416mを越え、19:30に5,000mの岩小屋着。その日にペディ小屋4545mにはたどりつけず。高度順化不十分なのに5400mを越えるのは、計画上無理があった。とにかく疲れた。有人の岩小屋があってよかった。ラーメン

を作ってくれたが、疲れすぎて食べられず。

4/24 07:30岩小屋発。ペディ小屋4545mを経てレダー4200mのロッジ泊。

4/25 レダー07:30発。マナン3500mロッジ14:00着。ヤクホテル泊。マナンまでベシシヤハール付近の水力発電所から電気が来ている。携帯電波塔もあり現地携帯（GSM）通じる。

4/26 08:00マナン発。ギャル3700mに15:30着。ロッジ泊。ここでニーマ及びドルジェと合流。

4/27 08:30ギャル発。

13:45 BC:4380m着。BC泊。

4/28 高度順化。BC泊。

4/29 08:30BC4380m発。晴れ。

14:25C1:5400m着。夕方から雪。

C1泊。ここは現地携帯通じる。

4/30 高度順化。朝は晴れだが寒い。午後は雪。C1泊。

5/1 早朝にポーター2名がデポした

200mロープを持って上がって

くる予定だったが、来ず。寒いので

下に下りたとのこと。午後に到着。この日はC2に移動できず、高度順化日。C1泊
この日はC2に移動できず、高度順化日。



BC:4,380m 正面はアンナプルナII峰

5/2 08:30C1発。上部の岩場に半年ほど前のフィックスロープあり。使わせてもらう。13:30にC2:5700m着。C2泊。

5/3 06:00にC2:5700m発。晴れ。マイナス15度程度。薄い岩片に薄く雪のついた崩れやすい所を3時間ほど登るとケルンがある。たぶん、5,950m。そこから、ピサンピーク6091mの100m程

手前の急斜面をゲルジュが登ろうとしたが、

グズグズの岩くずに30cmほど軟らかい雪がついているだけで、スノーバーもアイスクリューも入らず支点が取れない。

ここで引き返すことに決定。下りは、雪をどかし岩をだして、ロックハーケン打って支点にして確保してもらう。50mロープ数回で安全地帯に下りる。11:00C2:5700m着
あと3週間ほど早く来れば、雪と氷を利用して登れたかも。C2泊。

5/4 08:15C2:5700m発 13:30BC:4380m着。BC泊

5/5 06:30BC:4380m発 09:00ピサン村着。林道を歩く。15:30に2600mのコト着。

ロッジ泊 1800m一気に下りたので足が痛くなる



C1:5,400m

5/6 07:30コト発。09:30ティマン着。

雨が降り始める。林道を下っていると
ジープが来たのでカップが交渉して
ベシヤハールまで乗せてもらう。

2人は荷台に。歩くと1日半のところを
数時間で下りれた。未放送の悪路で
たまに転落するらしいが歩くよりよい。

14:00ベシヤハール着。ロジ泊。

風薫るアンナプルナに別れを告げる



5/7 07:30ベシヤハール発。 C2に下る。肩から左の稜線沿いに登れば頂上

乗合ハイエースで15:30カトマンズ着。サムサラホテル泊。

5/8 09:30 AFH 社ニーマ社長とドクターとナースがホテルに来てPCR 検査してくれる。19:00 頃、Star Hospital Lab. の陰性証明書と厚生省書式証明書が出来たので、ホテルに届けるとの電話あり。AFH 社ダワが届けてくれた。

5/10 カトマンズ 12:45 発マレーシア航空 9118 便でクアラルンプール 10:05 着。

クアラルンプール 20:50 発マレーシア航空 9118 便で

5/11 07:05 成田着。

追伸: 5/11 成田空港に無事予定通り 07:00 に着いたが、日本人も外人も全員、唾液検査するとのこと。こんなことは、出発前の厚生省HPには載っていなかった。抜き打ちか。折り畳みイスで長い間またされる。やっと順番が回ってきたら、何かの書類で待たされ、番号を呼ばれた人から旅券審査に行くことを許される。番号を呼ばれたので、行ってみたら、このグループは「陽性」とのこと。別室で待たされた。

私は5/8 カトマンズでの鼻ぬぐい検査では「陰性」だったのに。私の前の4人は日本人で、一人は職業山岳ガイドと答えていた。4月初めからネパール入りとのこと。私は、5/7 カトマンズに戻ってから、両足の親指の根元が痛くなり、だんだん腫れてきて、靴を履くのが痛く、空港内では歩くのが困難だった。このことを検疫医師に話したら、私だけ裏口地下駐車場から空港検疫所のミニバスで20分の「国際医療福祉大学成田病院」という新しくて小ざれいなところに送られる。13:00 頃着。

ほかの人達はホテルか。どうもコロナ入院費等はダダらしい。CTスキャン・レントゲン後に6階の個室へ。トイレ・シャワー・TV付き推定20m²の快適な部屋だが、禁煙。一步も部屋の外に出るなどのこと。

病院にWifiは無いが、隣の大学のWifiパスワードを教えてもらいネットに繋げる。食事は朝昼晩ビニール袋に入れて届けてくれる。コンビニ総菜を小さくしたようなパッケージで腹が減る。コロナのほうは、最初の3日間だけウイルス点滴1時間。最初から、熱も咳もなく、ピンピンしているので、何もしなくてもよいのに。足のほうは抗生物質が効いて一晩でだいぶ良くなったが、禁煙はしんどい。

10日間の隔離とのことなので、

5/21 (土) 退院・帰宅。

山の日記念「田中陽希」講演会のお知らせ（2）

田中陽希講演会 千葉労山事務局

各会より『参加申込書』が順次届いています。ご協力ありがとうございます。

5 月 29 日（日）時点で、参加申込者は『150 名（14 会）』（2 会から未連絡）です。

コロナ禍で自由に対面での会合（例会など）を持つことが非常に難しいと考え、労山としてのスケジュール（ちばニュース 5 月号参照）を決めて準備を進めてきました。

しかし、5 月 24 日（火）の『房総の山復興プロジェクト』の打ち合わせで、プロジェクトの一つの団体より、会計処理の観点から幾つかの要請がありました。

その結果、私たちが進めてきたこれまでの日程などを変更（修正）せざるを得ない状況になりました。特に、『入場料集金方法』と『チケット配布方法』です。

新たなスケジュールをお知らせしますので、各会のご協力をお願いします。

尚、6 月 2 日（木）の役員会後に改めて詳細なスケジュールなどを各会代表者、県連理事そして県連役員にメール配信する予定です。

1. 概要

（1）実施日：2022 年 8 月 11 日（木・山の日）午後 1 時～5 時

（2）会 場：千葉市民会館（JR 千葉駅より徒歩 10 分）

（3）定 員：800 名（コロナ禍の状況によっては変更があります）

＜注＞ポスターやチラシでは、約 500 名となっていますが、千葉市民会館より、「コロナ禍の状況を勘案して 800 名は可能」という連絡がありました。

（4）入場料：1,000 円（県連から半額の 500 円を補助）→集金は 500 円です。

（但し、会員・非会員を問わず参加申込書記載の人に限定）

（5）主 催：『房総の山復興プロジェクト』

・一般社団法人 千葉県山岳・スポーツクライミング協会

・公益社団法人 日本山岳会千葉支部

・千葉県勤労者山岳連盟

2. スケジュール概要（参加者・人数確認、入場料集金方法、チケット配布方法）

参加希望会員が確実に参加できることを最優先に取り組み中です。

（1）県連盟専用『参加申込書』を、会単位で『田中陽希講演会千葉労山事務局（安彦）』までメールで申し込んでください。随時受け付けています。

（2）第 1 次集約：5 月 19 日（木）『5 月理事会（Zoom）』→『146 名（14 会）』

（3）6 月 16 日（木）の『6 月理事会（船橋市西部公民館）』で、参加申込書記載の人数分の『入場料（1 人 500 円）』の集金をし、チケットをお渡しします。

日程的に極めて短いですが、入場料集金にご協力をお願いします。

（注）チケットは、理事会前に入手できるように手配中ですが、間に合わない可能性もあります。その場合には、各会代表者、県連理事にお知らせします。

（4）7 月 21 日（木）の『7 月理事会（船橋市西部公民館）』で、最終集約を行います。

上記（3）と同様な手続き（入場料集金、チケット配布など）を行います。

（5）7 月末までに、参加申込者全員分の『入場料』を『日本山岳会千葉支部』に専用の振替取扱票で送金します。併せて、『参加者名簿（氏名のみ）』をメール送付します。

事務局： 廣木國昭（ちば山の会）、 安彦秀夫（東葛山の会）

房総の山復興 山の日記念講演会

2022年

8月11日(木・祝)

13:00-17:00 (開場13:20)

会場 | 千葉市民会館
千葉市中央区要町1-1

定員 | 約500名

入場料 | 1,000円

元清澄山～田代林道終点間の
倒木による登山道崩落



多くの杉の太木が
谷に向かって倒れて登山道を塞ぎ
通行できない状態になっている



お申込み方法



- 1 QRコードを読み込み、商品ページからチケットをご購入ください。
- 2 ご注文を確認しましたら自動メールの他に「チケットナンバー」をメールにてお知らせいたします。
- 3 そのメールをプリントアウトするかスマホ等で確認できるようにしておください。
- 4 当日受付でその「チケットナンバー」をお伝えください。
- 5 パソコンは、下記のURLよりご購入ください。
<https://www.yoshiki-p2.shop/shopdetail/000000001526/>

房総の山復興プロジェクト

一般社団法人千葉県山岳・スポーツクライミング協会
千葉県勤労者山岳連盟
公益社団法人日本山岳会千葉支部

田中陽希
Yoki Tanaka



たなか ようき
プロアドベンチャーレーサー
Team EASTWIND所属

花嫁街道「経文石」直近の崩落箇所、丸太橋を架けパイプ支柱を打ち込み手摺養生を設置
(和田浦歩こう会と協働)

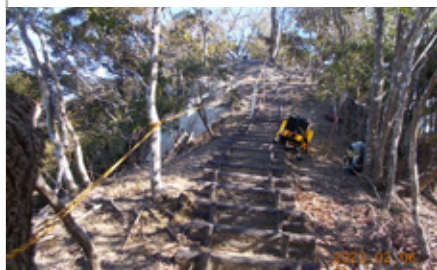


目的

2019年の台風15号と19号により甚大な被害を受けた房総の山々の復興活動の取組みについて、国民の休日である「山の日」に、「日本3百名山ひと筆書き〜Great Traverse3〜」達成の田中陽希氏の講演と房総の山復興プロジェクト活動を紹介して日本の山々の素晴らしさと房総の山の復興を多くの県内登山愛好者や一般市民に広く認知していただき更なる復興および安全登山につなげる機会としたい。

プログラム

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 開場 | 13:20 |
| 2. 開会式 | 13:50 |
| 3. 台風被害の状況と復興状況の説明 | 13:55 |
| 4. 田中陽希さん講演開始 | 14:30 |
| 5. 質問タイム | 16:00 |
| 6. 閉会式 | 16:30 |
| 7. 終了 | 16:40 |



左／関東ふれあいの道（モミ・ツガのみち）。倒木により谷側が崩落し一枚岩になったため、ステップを山側に移設しパイプ支柱を打ち込み手摺養生を設置した
右／郷台林道から300m位、遊歩道上に崩落した木と土砂を除去するための切除作業

ご来場のお客様へお願いとご注意

- 館内では必ずマスクを着用してください。※マスクは鼻と口を覆って着用してください
- 体調が万全でない場合のご利用はお控えください。
- お互いに距離を取り、整列入場にご協力ください。
- 館内での飲食はご遠慮ください。（水分補給を除きます）
- 客先は1席間隔でお座りください。
- スタッフの指示に従ってください。

房総の山復興プロジェクト

主催

一般社団法人千葉県山岳・スポーツクライミング協会
千葉県勤労者山岳連盟
公益社団法人日本山岳会千葉支部

田中陽希

たなか ようき
ブロードベンチャーレーサー
Team EASTWIND所属



北の大地にあこがれた父のひと言によって、6歳で北海道富良野市麓郷に移住。一年の大部分を雪と共に過ごし、クロスカントリスキーに没頭する。明治大学進学後もスキー部で活躍。大学卒業後、体育教員を目指す傍らアドベンチャーレースと出会い、冒険へと人生の方向転換を図る。

パタゴニアエクスペディションレースに2010年～2013年、2016年出場。最高位は2012年と2013年、2016年の2位。チームの目標は最も過酷な国際レースでの優勝。

2014年、前人未到の挑戦として、南は屋久島、北は利尻島までの「日本百名山ひと筆書き〜Great Traverse〜」7800kmの旅を208日と11時間で達成。

2015年、北は宗谷岬、南は佐多岬までの新たな100座を、同じく人力のみで繋ぎあわせる「日本2百名山ひと筆書き〜Great Traverse 2〜」8000kmの旅を222日で達成。

2018年1月から、百名山、二百名山、三百名山の計301座を人力のみで繋ぎあわせる集大成のプロジェクト「日本3百名山ひと筆書き〜Great Traverse 3〜」を2021年8月2日に完遂させた。



人力チャレンジ応援部



役立つ本の紹介

「一生、山に登るための体づくり」

石田良恵 著

コロナ禍により、山に行けない、目標のないトレーニングに力が入らない。このような状況にピッタリの本を紹介します。



石田先生は、呼びかけます。

「登山はゆっくりでも歩ければ何歳まででも続けられます。

本書は日々行うトレーニングやストレッチ、そのための栄養、登山後のアフターケアなど、いつまでも登山を楽しむための知恵をまとめました。安全に楽しく息長く登山を続け「悔いのない生涯」を自分の努力で手に入れましょう

いつでもどこでもトレーニングは可能です。」

特別価格 1,000 円（千葉県連会員限定価格）通常価格 1,200 円

在庫、8 冊限定です。

購入連絡・問い合わせ先：広木 国昭

danphiro@.jcom.zag.ne.jp

県連活動予定表

7月			6月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	金		1	水	
2	土		2	木	役員会（ZOOM）
3	日		3	金	
4	月		4	土	登山講習（古賀志山）
5	火		5	日	
6	水		6	月	
7	木	役員会（ZOOM）	7	火	
8	金		8	水	
9	土		9	木	
10	日		10	金	
11	月		11	土	
12	火		12	日	
13	水		13	月	
14	木		14	火	
15	金		15	水	
16	土		16	木	理事会（船橋市西部公民館）
17	日		17	金	
18	月		18	土	
19	火		19	日	
20	水		20	月	
21	木	理事会（船橋市西部公民館）	21	火	
22	金		22	水	
23	土		23	木	
24	日		24	金	
25	月	教遭委員会（ZOOM）	25	土	
26	火		26	日	
27	水		27	月	教遭委員会（ZOOM）
28	木		28	火	
29	金		29	水	
30	土		30	木	
31	日				

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>